

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート(2次評価シート)

(4) 評価実施年度	平成 19 年度
(5) 評価責任者職名	生活環境部長
(6) 評価責任者氏名	永持 嘉宣
(7) 評価者	青山支所長

(1) 政策	コード 12	名称 (7) 環境への取り組みが進むまちづくり
--------	-----------	----------------------------

(2) 基本施策	コード 24	名称 ごみを減らす生活を送る	(3) 生活課題 24	ごみを出さないようにするという意識を皆が持っている。
----------	-----------	-------------------	----------------	----------------------------

(9) 継続・新規 (19.20.21.22)	コード	(10) 事務事業名	コード	(11) 担当部課名	(12) 事業費(千円)			(13) 投入人員(人)	主な成果(新規事業の場合は目標)		1次評価結果								
					H18 決算額	H19 予算 額・補 正要求 額	H20 要求 見込額		(14) 指標名	指標の数値		(17) 指標の 単位	(18) 評価 類型	個別評価				(23) 総合 評価	(24) 方向性
										(15) 17年度	(16) 18年度			(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性		
継続	0557	一般廃棄物減量等推進事業	752000	青山生活環境課	10,696	10,973	10,973	0.8	減量化率(可燃ごみ)(本年度ごみ処理量/前年度ごみ処理量)	3	4 %			4	4	4	3	A	変更
継続	0556	一般廃棄物減量等推進事業	100800	清掃事業課	47,886	46,440	46,440	0.5	可燃ごみの排出量の減量		23,256 t			4	4	4	3	A	現状維持
継続	566-1	ストックヤード整備事業	100500	しらさぎクリーンセンター	165,394	52,160	52,160	0.3	進捗率		42 %			3	3	3	4	C	現状維持
継続	566-2	リサイクルプラザ建設事業	100500	しらさぎクリーンセンター	3,114	0	728,900	1.0	資源化率		H22で77 %			4	4	3	3	A	現状維持

(25) 1次評価修正有・無	(26) 修正点	(27) 修正の理由	(28) 改革改善案修正の有・無	(29) 修正点	(30) 優先度区分	(31) 方向性	(32) 方向性の評価について	(33) その他の改革改善点について
無			無		1G	b	分別の徹底によるごみ減量と資源化を推進する。	
無			無		1G	b	分別の徹底によるごみ減量と資源化を推進する。	
有	必要性を3から4に、有効性を3から4に総合評価をCからAに修正する	ごみの減量と古紙布等の資源化率の向上	無		2G	b	収集業務の効率化とリサイクルの推進を図る。	
無			無		3G	c	建設コストを縮減し成果の向上を図る。	